

平成26年度第3回 区政モニター会議 会議録（要旨）

平成26年10月21日（火）

（昼の部）午後2時～午後3時45分

区役所 8階第一会議室

- 1 広報課長あいさつ
- 2 図書文化財課長あいさつ
- 3 事業説明
- 4 事例検討
 - (1) 「中央区立生涯学習交流館 本の森ちゅうおう（仮称）」について
 - (2) 図書館システムのリニューアルについて
 - (3) シニア・ハンディキャップサービスについて
 - (4) 文化財について

1 「中央区立生涯学習交流館 本の森ちゅうおう（仮称）」について

図書館を核に郷土資料館機能、生涯学習機能、文化・国際交流機能を融合させ、かつ敬老館（いきいき館）を併設した「中央区立生涯学習交流館 本の森ちゅうおう（仮称）」（以下 本の森）を、労働スクエア跡地に平成28年11月を目標に設置することを現在、区では検討中です。この複合施設が利用者のニーズに沿った活動空間になり、新たな出会い・発見・交流の場となることを目指していますが、本施設に対するご意見をお聞かせください。

質問 本の森ができると、区役所にある京橋図書館はなくなるのか。

図書文化財課長 京橋図書館が移転という形になるので、なくなる。

質問 併設されるいきいき館は新築か、あるいは既存施設の移転か。

図書文化財課長 近くのいきいき桜川が移設する形になる。

質問 予算はどの程度か。

図書文化財課長 既に土地を約2.7億円で購入済みで、建築費として約9.4億円を見込んでいる。

意見 本の森が、いわゆる公設民営方式をとることに賛成。民間事業者による運営で、サービスレベルが向上することを期待する。

意見 子どもから高齢者まで多くの世代が利用できる施設なので、江戸バスのコースに入れるなど、ぜひアクセスをよくしてほしい。

図書文化財課長 現在、江戸バスを所管する環境土木部で検討中。当課としては、ぜひコースに入れてほしいと今後も要望していく。

意見 経済的効率性の観点からも、本の森のように幾つかの機能を集約すること

に賛成。

意見 機能の集約化・複合化したことで、逆に予算規模が大きくなったのではないか。むしろ図書館だけに絞れば、もっと低予算でできるはずだ。

意見 説明で第1回目の建設入札が不調に終わったとあったが、今は東日本大震災からの復興、2020年オリンピックに向けて、建築資材・工賃が値上がりしているので、確かに入札も難しいのだろう。建築資材・工賃が高騰している今現在、無理してまで建築する必要はないのではないか。

意見 中央区で最近つくられている施設は大変すばらしい出来ばえだと思う。本の森も他の自治体から見学が来るほどの特色のある、すばらしい施設にしてほしい。説明を聞いた限りでは、平凡かなという印象を受けた。

意見 私は逆に立派過ぎると思った。区の財政負担をできるだけ減らすためにも、施設の新設よりも、まずは既存施設の更なる有効活用に注力したほうがいい。また竣工時期も来年度、改めて検討・決定すればいい。

意見 子どもから大人へ、大人から高齢者にと1人の人間の世代は移る。世代が移ったら利用しなくなるにならないように、世代間を橋渡しするセミナー等を行い、ぜひ生涯学習機能を充実させてほしい。

意見 本の森にできる郷土資料館が1階と2階にしかないのは少し狭いような気もするが、最新設備でいいものにしてもらいたい。

意見 本の森を特色ある施設にするためにも、郷土資料館機能を充実させてはどうか。区の文化財の展示を充実させれば、訪れる人も増えると思う。

意見 確かに郷土資料館は区の観光資源になり得る。今後、万一、建設入札の不調が続き、本の森の竣工時期がなかなか決まらなくても、郷土資料館の部分だけは、オリンピックに合わせ、仮設でもいいから、つくったほうがいい。

意見 区民は区内に病院が少ないと切実に感じているので、本の森を建設するよりも病院を誘致してほしい。

意見 図書館に、いきいき館のお風呂や飲食コーナーなど、時間つぶしのため長居できる施設は不要。

意見 震災時に避難場所になり、そこで横になれるためにも、床材を木にするなどの配慮が欲しい。

2 図書館システムのリニューアルについて

平成26年1月より、図書館システムがバージョンアップしました。そこではICタグを利用し、資料管理の効率化、利用者サービスの向上を図っています。例えばICタグを読み取らせる自動貸付機を導入し、貸付待ち時間の解消等を図っていますが、今後、更なるサービスの向上に向け、皆様のご意見をお聞かせください。

意見 私に限ったことかもしれないが、新しい貸出方式は敬遠してしまいそうだ。

意見 本の借り出しや返却に並んで待たなくて済むようになり、とても満足だ。

意見 月島図書館を利用しているが、確かに新しいシステムが導入され、特に本の検索が非常に便利になった。

意見 新システムになって、本の借り出し・返却は非常にスムーズになった。今後は蔵書の充実に期待したい。そのためにも、いろいろな世代の利用者の声を聞いて、購入図書を選定を行ってほしい。

意見 新規購入図書は、後になっても陳腐化しないものを選んでいただきたい。

意見 私の周りには、効率化＝合理化と考え、合理化で図書館の司書・職員が減り、サービスレベルが落ちると誤解している人もいるので、そうではなく、逆にサービスレベルの向上につながっていることをもっとPRしたほうがいい。

意見 ICタグをつけても、それを剥がしてしまえば簡単に本を盗める。本の盗難防止対策は真剣に検討したほうがいい。

3 シニア・ハンディキャップサービスについて

中央区にお住まいで、65歳以上の方、あるいはお体に不自由があり、なかなか図書館に来られない、一般の活字図書が読めない方々に向けて、少しでも図書館の本を快適に楽しみ、ご利用いただくためのサービスを現在も提供しています。例えば録音図書（CD、テープ）・デジタイズ図書や大活字本の貸出、郵送による貸出、対面朗読等のサービスを行っています。今後、更に多くの方々にご利用いただけるサービスについて、皆様のご意見をお聞かせください。

質問 現在のシニア・ハンディキャップサービスの利用者数及び最大想定人数は。
図書文化財課長 現在の利用者数は手元に資料がなく不明だが、登録者は39名である。利用者の想定人数は特に上限を設けていない。利用の申込があれば何人でも現在のスタッフで対応していきたい。

意見 せっかくいいサービスをしているのだから、もっとPRしてほしい。

広報課長 年に1回は広報紙に載せているが、いかんせん紙面が限られているので、なかなか目立つ形で載せられない。よく読んでいただければPRに努めていることは理解していただけたらと思う。

意見 シニア・ハンディキャップサービスは非常に手厚くて、よいサービスだと思う。このサービスを利用して、高齢者や障害者の方が日常生活で困っていることを聞くなど、福祉政策とつなぐことも考えてはどうか。

4 文化財について

本区は江戸時代より、文化・経済の中心として常に発展してきた土地柄です。そのため、多くの有形・無形の文化財があり、これらを調査することで、その価値を改めて発見し、その維持管理に努めています。また、これら文化財を再活用することで、区民の新しい文化創造活動にも役立てていこうと考えています。区の文化財行政に関

する皆様のご意見をお聞かせください。

意見 区の文化財に関する普及啓発活動を一層進めていただきたい。

意見 区の文化財めぐりに参加したことがある。そのときは、単に「ここは何々の跡地です」という感じの説明しかなかったので、もっと説明を充実させるためにも専門家を活用してほしい。

意見 私も文化財めぐりにはぜひ参加したい。もっと広報してもらいたい。また文化財マップも、もっと手に入りやすい方策を考えてもらいたい。

図書文化財課長 検討したい。ちなみに現在、文化財マップは郷土天文館（明石町）に置いてある。区役所にも多少はあると思う。

意見 いきいき館の歴史探索講座を受けたが、やはり専門家の話はおもしろい。新しい知識をもらえる。例えば中央区は伝統のある町とよく言われるが、区内では比較的新しい町で、それゆえ生き生きと活気のある雰囲気があると。そのような新しい歴史観をもっとPRしてはどうか。

意見 埋蔵文化財の調査等、いろいろな文化財に関して活動していることはわかったが、それらの文化財をいつ、どこで見られるのか、もっとPRをお願いしたい。

広報課長 現在、区で登録されている文化財は区のホームページで見られるので、ぜひ一度見ていただきたい。また以前、区報で連載していた『区内散歩』を9巻の本にまとめた。区内の歴史や文化財について書かれている。区役所1階の情報公開コーナーで販売しているので、興味のある方はぜひお求めください。

意見 区内各所にある歴史的な説明板の中には、これは本当に必要かなと疑問に思うものもあるので、取捨選択をしっかりとった上で設置願いたい。

意見 逆に説明が必要なところに説明板が立っていないことがある。（例；明石町には日本初の無線交信地や日本海軍の発祥地がある）

— 了 —